

| | | | | | |
|--|--|---|-----------|--|--|
| 1. Report No. UMTRI-2014-10 | | 2. Government Accession No. | | 3. Recipient's Catalog No. | |
| 4. Title and Subtitle コネクティッド・カーに関する米国, 英国, 豪州での世論調査 | | 5. Report Date April 2014 | | 6. Performing Organization Code 383818 | |
| | | 7. Author(s) Brandon Schoettle and Michael Sivak | | 8. Performing Organization Report No. UMTRI-2014-10 | |
| 9. Performing Organization Name and Address The University of Michigan Transportation Research Institute 2901 Baxter Road Ann Arbor, Michigan 48109-2150 U.S.A. | | 10. Work Unit no. (TRAIS) | | 11. Contract or Grant No. | |
| | | 12. Sponsoring Agency Name and Address The University of Michigan Sustainable Worldwide Transportation http://www.umich.edu/~umtriswt | | 13. Type of Report and Period Covered | |
| 15. Supplementary Notes | | 14. Sponsoring Agency Code | | | |
| 16. Abstract <p>本研究では, 英語圏である米国, 英国, 豪州の三カ国に渡ってコネクティッド・カーの技術に関する世論調査が実施された. 18 歳以上の 1,596 人から有効回答が得られた.</p> <p>主な結果は以下の通りであった:</p> <ul style="list-style-type: none"> 回答者の大多数は, 事前にコネクティッド・カーの技術について聞いたことがなかったが, 大部分がその技術に対しては肯定的な意見であった. 大多数は, 調査で示された期待される利点を実際に起きそうだと感じていた. 一般的に, 回答者は本調査で示された安全性と性能に関する論点に高い関心を示していた. 調査対象者の大半は, 安全性がコネクティッド・カーにおける最も重要な側面であると述べていた. 個人の通信デバイスがインターネット接続できるように, コネクティッド・カーに対しても一体化することが重要であると多くの人が述べていた. 回答者の大部分は自分の車にこの技術が欲しいと示した. コネクティッド・カー技術に対する購入意欲は, 三カ国に渡って類似していた. <p>調査対象となった三か国における一般の人は, コネクティッド・カーに対して肯定的に感じており, 利点への楽観的な期待を持ち (まだいくつかの懸念点はあるが), コネクティッド・カー技術が利用できるようになった時には, それが欲しいと一般的に望んでいることがこれらの結果から推測される.</p> | | | | | |
| 17. Key Words コネクティッド・カー, 調査, 米国, 英国, 豪州, 世論, V2V | | 18. Distribution Statement Unlimited | | | |
| 19. Security Classification (of this report) None | 20. Security Classification (of this page) None | 21. No. of Pages 27 | 22. Price | | |